



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月11日

上場会社名 株式会社ユー・エス・エス 上場取引所 東 名
コード番号 4732 URL <https://www.ussnet.co.jp>
代表者 （役職名） 代表取締役会長 （氏名） 安藤 之弘
問合せ先責任者 （役職名） 取締役副社長統括本部長 （氏名） 山中 雅文 TEL 052-689-1129
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月12日
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	53,979	7.0	28,709	9.4	29,041	9.2	19,951	10.0
2025年3月期中間期	50,456	4.9	26,230	10.3	26,587	10.2	18,140	12.2

（注）包括利益 2026年3月期中間期 20,106百万円（10.4％） 2025年3月期中間期 18,204百万円（10.5％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	42.67	42.55
2025年3月期中間期	37.75	37.69

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	252,738	200,681	78.0
2025年3月期	267,348	207,354	76.2

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 197,209百万円 2025年3月期 203,761百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	20.60	—	22.80	43.40
2026年3月期	—	25.20			
2026年3月期（予想）			—	26.20	51.40

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	111,800	7.5	57,400	5.9	58,100	5.9	39,650	85.17

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期中間期	474,000,000株	2025年3月期	514,000,000株
-------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2026年3月期中間期	10,821,802株	2025年3月期	40,694,522株
-------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年3月期中間期	467,507,638株	2025年3月期中間期	480,455,065株
-------------	--------------	-------------	--------------

(注) 期末自己株式数には、U S S従業員持株会専用信託が所有する株式を含めております。(2026年3月期中間期 188,800株、2025年3月期 306,900株)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士または監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料および決算説明会内容の入手方法)

当社は、2025年11月12日 (水) に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。

この説明会で配布する決算補足説明資料および決算説明会動画については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
3. 補足情報	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における国内自動車流通市場は、前年度に発生した国内自動車メーカーの認証試験不正問題にともなう出荷停止の影響により落ち込んでいた新車販売が回復したことなどから、新車登録台数(軽自動車含む)は2,179千台(前年同期比0.5%増)となりました。

中古車登録台数(軽自動車含む)は、新車販売の回復にともない下取りに出される中古車が増加したことなどから、3,165千台(前年同期比1.6%増)となりました。(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会調べ)

中古車輸出市場は、主にアフリカ、アラブ首長国連邦、スリランカ向けの台数が増加したことにより、873千台(前年同期比15.0%増)となりました。(財務省貿易統計調べ)

オートオークション市場における出品台数は4,047千台(前年同期比12.4%増)、成約台数は2,756千台(前年同期比7.1%増)、成約率は68.1%(前年同期実績71.5%)となりました。(株)ユーストカー調べ)

このような経営環境の中、U S S グループの当中間連結会計期間における経営成績は、売上高53,979百万円(前年同期比7.0%増)、営業利益28,709百万円(前年同期比9.4%増)、経常利益29,041百万円(前年同期比9.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益19,951百万円(前年同期比10.0%増)となりました。

オートオークション

オートオークションの出品台数は1,724千台(前年同期比15.9%増)、成約台数は1,131千台(前年同期比8.9%増)、成約率は65.6%(前年同期実績69.8%)となり、出品台数および成約台数が増加したことに加え、専用端末を使用してオークションに参加する「U S S J A P A N」の落札手数料の改定により、オークション手数料収入が増加したことなどから増収増益となりました。

この結果、オートオークションのセグメントは、外部顧客に対する売上高43,696百万円(前年同期比10.8%増)、営業利益28,414百万円(前年同期比10.9%増)となりました。

中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、販売台数の減少に加え、台当たり粗利益が減少したことなどから減収減益となりました。

事故現状車買取販売事業は、新規取引先の開拓に取り組み販売台数は増加しましたが、販売単価および台当たり粗利益が減少したことなどから減収減益となりました。

この結果、中古自動車等買取販売のセグメントは、外部顧客に対する売上高5,945百万円(前年同期比6.5%減)、営業利益122百万円(前年同期比55.9%減)となりました。

リサイクル

資源リサイクル事業は、金属相場が低調に推移したことに加え、減価償却費が増加したことなどから減収減益となりました。

プラントリサイクル事業は、大規模な解体工事の受注件数が減少したことなどから営業損失となりました。

この結果、リサイクルのセグメントは、外部顧客に対する売上高3,654百万円(前年同期比11.5%減)、営業利益39百万円(前年同期比84.3%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の資産合計は252,738百万円となり、前連結会計年度末と比較して14,609百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が13,999百万円減少したことによるものです。

負債合計は52,057百万円となり、前連結会計年度末と比較して7,936百万円減少しました。これは主に、オークション借勘定が5,272百万円減少したことによるものです。

純資産合計は200,681百万円となり、前連結会計年度末と比較して6,673百万円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益を19,951百万円計上した一方、剰余金の配当を10,798百万円実施したことに加え、自己株式の取得により16,000百万円減少したことによるものです。

なお、自己株式の消却により、資本剰余金が76百万円、利益剰余金が38,243百万円、自己株式が38,320百万円それぞれ減少しております。

<キャッシュ・フローの状況>

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して24,999百万円減少し、79,719百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は15,160百万円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益29,134百万円（前年同期比9.6%増）、法人税等の支払額9,616百万円（前年同期比11.0%増）、オークション勘定の増減額△4,450百万円（前年同期実績△2,838百万円）によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は13,058百万円となりました。これは主に、定期預金の純増加額10,000百万円（前年同期比400.0%増）、有形固定資産の取得による支出2,432百万円（前年同期比191.2%増）、無形固定資産の取得による支出608百万円（前年同期比20.9%増）によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は27,102百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出16,000百万円（前年同期実績0百万円）、配当金の支払額10,798百万円（前年同期比10.3%増）によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間は、市場環境の好転に加え、高く売れる会場としての評価を活かした営業活動等が奏功し、出品台数および成約台数が想定を上回りました。これにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は、業績予想を上回る結果となりました。

これを踏まえ、当中間期の業績を通期の業績予想に反映し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、前回公表（2025年8月5日発表）の連結業績予想を上方修正しております。

<連結業績予想>

通期（2025年4月1日～2026年3月31日）

（単位：百万円）

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率(%) (B-A)/A	前期実績 (C)
出品台数(台)	3,396,100	3,430,000	33,900	1.0	3,202,002
成約台数(台)	2,196,900	2,240,800	43,900	2.0	2,145,158
成約率	64.7%	65.3%	0.6 p	—	67.0%
売上高	111,800	111,800	—	—	104,021
営業利益	56,500	57,400	900	1.6	54,206
経常利益	57,200	58,100	900	1.6	54,883
親会社株主に帰属する 当期純利益	38,850	39,650	800	2.1	37,636

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	113,219	99,219
オークション貸勘定	13,767	12,945
受取手形、売掛金及び契約資産	2,419	2,377
営業貸付金	8,844	9,844
有価証券	3,000	2,000
棚卸資産	1,656	1,507
その他	1,987	2,340
貸倒引当金	△253	△288
流動資産合計	144,641	129,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	30,694	29,709
土地	63,564	63,566
建設仮勘定	1,271	2,653
その他（純額）	2,802	2,747
有形固定資産合計	98,333	98,675
無形固定資産		
のれん	6,747	6,477
その他	6,119	6,054
無形固定資産合計	12,866	12,531
投資その他の資産		
投資その他の資産	11,942	12,112
貸倒引当金	△435	△528
投資その他の資産合計	11,506	11,584
固定資産合計	122,706	122,792
資産合計	267,348	252,738

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
オークション借勘定	30,005	24,732
支払手形及び買掛金	904	789
短期借入金	340	370
1年内返済予定の長期借入金	220	324
未払法人税等	10,215	9,561
引当金	1,144	1,159
その他	8,320	6,604
流動負債合計	51,151	43,542
固定負債		
長期借入金	1,617	1,210
引当金	115	82
退職給付に係る負債	1,007	1,051
資産除去債務	641	645
その他	5,459	5,524
固定負債合計	8,842	8,514
負債合計	59,993	52,057
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	9,057	9,038
利益剰余金	214,166	185,076
自己株式	△32,958	△10,428
株主資本合計	209,147	202,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111	142
土地再評価差額金	△5,563	△5,563
退職給付に係る調整累計額	66	63
その他の包括利益累計額合計	△5,385	△5,357
新株予約権	442	442
非支配株主持分	3,150	3,029
純資産合計	207,354	200,681
負債純資産合計	267,348	252,738

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	50,456	53,979
売上原価	19,064	19,781
売上総利益	31,392	34,197
販売費及び一般管理費	5,161	5,487
営業利益	26,230	28,709
営業外収益		
受取利息	11	43
不動産賃貸料	343	304
雑収入	108	89
営業外収益合計	463	436
営業外費用		
支払利息	4	5
不動産賃貸原価	86	89
雑損失	16	9
営業外費用合計	107	104
経常利益	26,587	29,041
特別利益		
固定資産売却益	120	24
助成金収入	—	102
その他	3	0
特別利益合計	124	127
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	132	34
特別損失合計	132	35
税金等調整前中間純利益	26,578	29,134
法人税等	8,263	9,055
中間純利益	18,315	20,078
非支配株主に帰属する中間純利益	175	126
親会社株主に帰属する中間純利益	18,140	19,951

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	18,315	20,078
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△110	30
退職給付に係る調整額	△0	△2
その他の包括利益合計	△111	28
中間包括利益	18,204	20,106
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	18,028	19,979
非支配株主に係る中間包括利益	175	126

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	26,578	29,134
減価償却費及びその他の償却費	2,228	2,512
のれん償却額	269	269
貸倒引当金の増減額(△は減少)	161	127
賞与引当金の増減額(△は減少)	14	15
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	54	40
受取利息及び受取配当金	△20	△48
支払利息	4	5
有形固定資産除売却損益(△は益)	11	△2
オークション勘定の増減額	△2,838	△4,450
売上債権の増減額(△は増加)	640	42
営業貸付金の増減額(△は増加)	△1,112	△1,000
仕入債務の増減額(△は減少)	△283	△115
未払金の増減額(△は減少)	△536	△656
預り金の増減額(△は減少)	△973	△953
その他	△457	△186
小計	23,742	24,735
利息及び配当金の受取額	32	49
利息の支払額	△5	△7
法人税等の支払額	△8,664	△9,616
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,105	15,160
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△2,000	△10,000
有形固定資産の取得による支出	△835	△2,432
有形固定資産の売却による収入	209	32
無形固定資産の取得による支出	△503	△608
その他	△127	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,256	△13,058
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100	30
長期借入金の返済による支出	△296	△303
預り保証金の預りによる収入	84	118
預り保証金の返還による支出	△84	△52
自己株式の取得による支出	△0	△16,000
自己株式の売却による収入	176	188
配当金の支払額	△9,787	△10,798
非支配株主への配当金の支払額	△283	△248
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△47	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,139	△27,102
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,709	△24,999
現金及び現金同等物の期首残高	102,509	104,719
現金及び現金同等物の中間期末残高	104,218	79,719

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クション	中古自動車 等買取販売	リサイクル	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	39,453	6,361	4,127	49,942	514	50,456	—	50,456
セグメント間 の内部売上高 または振替高	155	—	2	158	—	158	△158	—
計	39,609	6,361	4,129	50,100	514	50,614	△158	50,456
セグメント利益	25,625	277	252	26,155	39	26,194	36	26,230

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オートローン事業および太陽光発電システムによる売電事業等であります。

2. セグメント利益の調整額36百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クション	中古自動車 等買取販売	リサイクル	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	43,696	5,945	3,654	53,296	682	53,979	—	53,979
セグメント間 の内部売上高 または振替高	205	0	2	208	—	208	△208	—
計	43,901	5,945	3,657	53,504	682	54,187	△208	53,979
セグメント利益	28,414	122	39	28,576	62	28,639	69	28,709

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オートローン事業および太陽光発電システムによる売電事業等であります。

2. セグメント利益の調整額69百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年6月24日開催の取締役会決議に基づき、2025年6月25日に、東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により自己株式10,325,900株を15,999百万円で取得いたしました。

また、2025年5月13日開催の取締役会決議に基づき、2025年6月30日付けで、自己株式40,000,000株を消却いたしました。

主にこれらの影響により、当中間連結会計期間において資本剰余金が19百万円、利益剰余金が29,090百万円、自己株式が22,529百万円それぞれ減少し、当中間連結会計期間末における資本剰余金が9,038百万円、利益剰余金が185,076百万円、自己株式が10,428百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	2025年3月期	2026年3月期		
	中間期	中間期	増減率(%)	通期予想
売上高	504	539	7.0	1,118
営業利益	262	287	9.4	574
経常利益	265	290	9.2	581
親会社株主に帰属する中間(当期)	181	199	10.0	396
純利益				

(2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	2025年3月期	2026年3月期		
	中間期	中間期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	85	97	13.9	195
成約手数料	90	96	6.8	193
落札手数料	147	167	13.7	333
バイクオークション手数料	5	6	8.9	12
商品売上高	12	12	1.3	24
その他の営業収入	52	56	6.8	113
オートオークション計	394	436	10.8	872
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	37	34	△7.9	71
事故現状車買取販売	26	24	△4.5	53
中古自動車等買取販売計	63	59	△6.5	125
《リサイクル》				
資源リサイクル	28	25	△8.7	58
プラントリサイクル	13	10	△17.5	47
リサイクル計	41	36	△11.5	105
《その他》				
その他	5	6	32.8	14
その他計	5	6	32.8	14
合計	504	539	7.0	1,118

(注) 1. 顧客との契約から生じる収益およびそれ以外の収益を区分して記載しておりません。

2. バイクオークション手数料は、株式会社ジャパンバイクオークションが運営するバイクオークションの手数料であります。

(3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	2025年3月期	2026年3月期		
	中間期	中間期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	13	30	127.2	118
完工ベース	9	12	32.8	126
減価償却費	21	24	12.4	52